

令和7年度 三次市立三和中学校 学校評価自己評価表

◆ 経営理念 ◆

【学校教育目標】 「志高く、未来を拓く」～「将来の夢の実現」に挑戦する生徒の育成～

【ミッション】 本校は、生徒が「学校が『夢を叶える学力をもった生徒の育成をめざす』、『三和の自然や伝統などの特性を活かした教育を推進する』、『仲間との出会い、体験を通した人間形成をおこなう』場となること」を使命とする。なお、学校は「地域を知り、地域と繋がる生徒と教職員」を育成する。この成果から「地域の活性化に貢献し続けること」を存在意義とする。

【ビジョン】

- ・学校は、生徒が自己調整力を發揮し、主体的・対話的で深い学びを通して基礎的・基本的な学力を身に付けるように学習環境を創意工夫する。
- ・学校は、生徒が「安全・安心」に過ごせる場、自他を大切にして学び合う場になるように、特別支援教育の視点に立った教育環境づくりに努める。
- ・学校は、生徒の豊かな表現力と良好な人間関係づくりを体得する場となるよう努める。

- ・学校は、生徒の「将来の夢、自己実現」のため、「知・徳・体」と道徳性を会得する場となるよう努める。
- ・学校は、C Sの取組を通して小中一貫教育の充実を図り、学校運営協議会と連携して9年間を見通した教育活動を推進し、地域とともにある学校づくりに努める。
- ・学校は、保護者・地域から信頼される「開かれた学校づくり」に努める。

◆ 経営目標・評価項目・評価・達成状況 ◆

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価指標	目標値 [%]	中間		最終		結果概要と分析	今後の改善方策〈取組〉	評価	学校関係者評価 (コメント)
						達成率	達成度 評価	達成率	達成度 評価				
確かな学力の育成	1 主体的で協働的な授業の設定	(1) 主体的な学びをすすめる授業を創る。	○単元ごとに生徒が主体的な学びが実践できる単元構成となるよう努める。	○生徒アンケートで「授業は、主体的に取り組んでいます。」の肯定的回答の割合	80	1年 13/14 2年 11/12 3年 8/9 計 32/35 91.4%	114.3 4	平均以上 教科数% 全国 66.7% 実テ 66.0% 66.3%	132.5 4	○どの学年もほとんどの生徒が肯定的回答をしている中、各学年1人ずつ3人があまり当てはまらないと回答している。授業には参加しているが自ら発言するなどが十分でなく、受け身な部分があると考えられる。	○授業内で全員が自分の考えを他者に向けて発表したり、何かにまとめたりできる場面や学習活動の設定を行う。また、1時間の中で生徒が「できた」と実感できる場面やふり返りの工夫を行っていく。	A	○どの学年も授業への主体的な取組みに対する肯定的な回答が高くなっています。学力テスト結果も目標値を大きく満たしています。 ○わかる授業の取り組みが生徒にとってより学力の向上となる。(予習、復習が習慣づくことが重要) 学力は全国調査結果のごとく成果が着実に伸びている。 ○生徒学習アンケート 14, 15, 16 要注意では 保護者アンケート 7, 8, 9 保護者は、どう取り組もうとされているのでしょうか。 ○思春期の子どもたちなので勉強に向かう前の生活面や人間関係などいろいろある中で、肯定的に回答した子が多かったのは継続した取り組みの成果だと思いました。 ○これからも一人ひとりの力を伸ばし、主体的に学ぶ姿勢を育んでいただきたい。 ○しっかりと結果も合わせて出ていると思います。 ○素晴らしい、よく頑張られています。数学は更に高みを目指して下さい。
		(2) 対話や考え方を深める授業を通して、学力を向上させる。	○アクティビティ型授業を実施する。授業者はファシリテーションを意識した授業を設定する。	○全国学力（3年のみ、全国比）、実力テスト（1～3年、県比）、市学力検査（1・2年、市比）の平均を上回った個人別教科数の割合		50	平均以上 教科数% 全国 66.7% 実テ 66.0% 66.3%		132.5 4	○結果の詳細は 全国学テ 国語 8/11 数学 6/11 理科 8/11 合計 22/33=66.66…% 第1回実力テスト 国語 8/10 社会 7/10 数学 5/10 理科 8/10 英語 5/10 計 33/50=66%， 合計 55/83=66.3%	○引き続き、生徒主体の授業展開を意識しながら、論理的に自分の言葉で表現させる活動を通して、協働する力、説明する力を付けさせる。また、基本的な語句の意味の理解や描写を読み取る力を帶学習や条件作文を作成する学習を通して付けさせる。		○アンケートからも家庭学習の習慣が身に付いていない生徒が過半数いることが伺えます。残念ながら地域の教育環境に期待がない分、保護者の熱意と積極的な関わりが欠かせませんね。 ○生徒同士の授業（わかる子はわからない子へ）を深めていくことにより、身に付くことが実感できる。理科はダントツ良い。 ○読み取る力や伝える力はどの分野においても重要だと思うので、これからもしっかりと取り組んでいただきたいと思います。 ○生徒が基礎学力を着実に身に付ける取り組みがされており、「できた！」の自信がみな持てるよう期待してます。 ○結果がしっかりと出ています。スゴイと思います。

豊かな心の育成	2 メタ認知能力を身に付けた生徒の育成	(3) 道徳の授業を通して、生徒の道徳性を養う。	○道徳教育推進教師がリーダーとなり、各学年の道徳の授業を工夫・改善させる。	○生徒アンケートで「道徳では友だちの意見を聞くことで新たな発見ができた。」の肯定的回答の割合	80	1年 12/14 2年 11/12 3年 7/9 計 30/35 85.7%	107.1 4		○どの学年もほとんどの生徒が肯定的回答をしている。授業内でのペア学習や全体交流に多くの生徒が素直に取り組む姿が見られた。	○引き続き、各学年や個々の生徒実態に応じて交流活動や座席配置を変えるなど、ペア学習や全体交流が効果的に行える工夫を続ける。また、T2を活用した道徳の実施など異なる視点からの発問により生徒の意見を引き出せるよう工夫していきたい。	A	○多感な中学生（子供から大人に向かう時期）は、淡い恋ごころも芽生える事もありで、何か変化があれば早くキャッチし対応することの大切さ（生徒・先生との信頼あり） ○人間力となっていくと思うので、大切に育てて欲しいと思います。 ○T2を活用する事での生徒の意見の引き出し、良いと思います。 ○勉強よりもしかしたら大切だと思います。引き続きよろしくお願ひします。
		(4) 生徒が主体的に取り組む生徒会活動を仕組む。	○小・中合同の取り組みや生徒会行事を生徒に主体的に取り組ませる。	○生徒アンケートで「行事に主体的に参加することができました。」の肯定的回答の割合	90	1年 13/15 2年 13/13 3年 9/10 計 35/38 92.1%	102.3 4		○多くの生徒が肯定的回答をしている。スポーツフェスティバル実行委員による取り組みなど生徒会執行部以外の生徒による主体的な活動も取り入れたことが結果にも繋がっていると考えられる。また、他の生徒も参加の際には他人と協力し、積極的に取り組むことができた。	○少数だが肯定的回答にならない生徒に注視し、別室登校の生徒なども掲示物作成など何らかの形で行事へ関わることができるよう配慮する。1年生の生徒においては、上級生から声掛けやサポートを仕組むことで行事に積極的に参加できるようにしていく。	A	○今年のスポーツフェスティバルでは全学年によるエイサーの演技の姿に感銘を受けました。 ○生徒会母体がしっかりして主体的に今回、春のスポーツフェスティバルにエイサーに取り組み、全校一丸となって心身共に大成功でした。これからもご指導願います。 ○生徒会執行部以外の生徒にも何らかの関わりを持たせる取り組みはとても評価します。 ○同学年だけでなく、全体交流もされているのは小規模校ならではのすばらしい所だと思います。 ○友達との協力や、思いやりや感謝の気持ちが行事（スポーツフェスティバル）で感じられました。 ○引き続きよろしくお願ひします。
健やかな体の育成	3 命の尊さを理解し、健康保持・体力増進に取り組む生徒の育成	(5) 命の尊さを学ぶ授業を実践する。	○生命の尊さと各種保健安全にかかわる授業を計画的に実施する。	○生徒アンケートで「命の尊さを理解し、自他ともに大切にしていく気持ちが高まった。」の肯定的回答の割合	95	1年 13/15 2年 12/13 3年 10/10 計 35/38 92.1%	97.0 3		○生活リズムに関する指導や熱中症対策に学校全体で取り組んだ。また、外部講師を招聘して「思春期こころの健康講座」を実施し、保健安全にかかわる取り組みを実施することができた。	○今後も養護教諭と生徒指導や熱中症対策に学校全体で取り組んだ。また、外部講師を招聘して「思春期こころの健康講座」を実施し、保健安全にかかわる取り組みを実施することができた。	A	○「全欠席の生徒がいない」ことに、学校側の取り組みを評価したいと思います。 ○命の大切さ（ゲームによって亡くなったのち生きること。企業を取り巻く人間社会の問題）と同時に、言葉の大切さも必要。自らスポーツに取り組み逞しい体力に!! ○とても重要なテーマです。目標値に向けて、頑張ってください。 ○基本的な生活習慣は生きていく上の基礎となるので、保育所でもしっかり取り組んでいきたいと思います。 ○体、心の健康を学校と保護者両方の協力がでていると思う。 ○3人の肯定的回答でなかった人が気になります。もともと高かったのか…命を軽じているのか？
		(6) 生徒が自分の生活をコントロールし、健康を保持する。	○生徒が主体的に生活リズムを見直すことで、充実した日常生活にする。	○各月の全欠生徒0を目指す。	100	4/4 100%	100 4		○4月～7月において、全欠席の生徒はいなかった。担任や学年会による、不登校傾向の生徒への支援が良かったと考えられる。	○今後も、個に応じた支援を意識し、個に寄り添った取り組みを継続する。	A	○個に応じた支援の結果だと思います。 ○家庭愛和・学校生活・生徒同志のコミュニケーションが素晴らしいのしよう。全欠席の生徒は0との報告、よかったです。 ○生活習慣づくりや個人へ寄添い、安心して学校生活を送てる事に感謝してます。

信頼される学校づくり	4 保護者と地域と教職員が信頼関係で結ばれた学校	(7) 学校生活の様子が、わかる情報発信を継続する。	○定期的に学校だよりを保護者・地域へ配布する。定期的にHPを更新する。	○保護者アンケートで「学校は、生徒の状況や学校の取り組みを周知している。」の肯定的回答の割合	8 5	1年 8/12 2年 6/11 3年 10/10 計 24/33 72.7%	85.6 3		○保護者のニーズと学校の取り組みにずれがあるものと考えられる。保護者にとって必要な情報が伝わっていないと感じられているのでは。	○学級だよりや学校だより、学校ホームページはもとより、普段の様子を電話でタイムリーに伝える取り組みを行う。	A	○定期的な「ホームページ」の更新とともに小中合同での町内全戸への「学校だより」の配布の取り組みは、開かれた学校運営姿勢として「大変良い」と評価します。 ○学校だより配布により、生徒たちの学校生活がよくわかり、何かあつたら情報があると思う。地域ぐるみで生徒を守る取り組みは必要です。 ○情報発信は、充分にされています。 ○不登校など難しい問題が様々にあると思いますが、一人ひとりの子どもたちに向き合って取り組まれていると思います。 ○学校からの情報発信が地域にされてて、学校が身近になったと思う。 ○逆に保護者が何を求めているか気になります。
		(8) 信頼される教職員を育成する。	○教職員主体の不祥事防止研修を定期的に実施する。	○教職員の不祥事0を目指す。	1 0 0	4/4 100%	100 4		○年間計画通り月1回の不祥事防止研修（交通事故の初期対応と措置義務違反、体罰禁止、セクシュアル・ハラスメント等防止、個人情報漏えい・紛失防止）を職員主体で進めることができた。	○研修を実施することは大事なのではあるが、研修で終わらないように日々不祥事を起こさない意識を高めていく。	A	○新聞紙上でニュースになるような不祥事は絶対あってはなりません。普段から教職としての自覚と意識を高める職場づくりに努めてください。 ○風通しのよい職場と見受けられます。校長先生を中心に、心身ともに健康に気をつけてください。 ○子どもをとりまく地域の協力も重要だと思いました。 ○風通しのよい職場でこれからも信頼される三和中学校を応援します。

*達成度=達成率÷目標値×100

*評価 4：目標を達成した（達成度100以上） 3：目標をおおむね達成した（達成度75以上～100未満） 2：目標をやや下回った（達成度50以上～75未満） 1：目標を大きく下回った（達成度50未満）